

科目名	アジア芸能					単位	2.0
担当教員	李 恩郷						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	1311

●授業のテーマ

アジアの芸能文化

●到達目標

アジアにはさまざまな形の芸能文化が存在し、多様性を見せている。本講義では中国の伝統文化を主に取り上げながら、日本や韓国の伝統文化との比較を行うことで、アジア諸国におけるそれぞれ異なる芸能文化の特徴を知ること为目标とする。伝統芸能文化の伝承と変容及び現状について学ぶ。

●学習内容(授業概要)

中国、日本及びアジア各国の芸能は、昔と比較すると大きく変容を遂げたにも関わらず、現在もなお人々の生活文化の一部として根付いているといえよう。受講者には、そのような部分を自分で発見し、自ら調べて、発表してもらう。

本講義は理論的な部分を取り上げるだけでなく、多彩な画像や動画を導入することで、より芸能文化をリアルに実感することを目指している。

●学習内容(授業計画)

1. ガイダンス
2. 芸能の定義、役割
3. 東アジアの無形文化遺産と芸能文化
4. 中国の伝統芸能 1
中国 5 大演劇：京劇、評劇、越劇、黄梅劇、豫劇
5. 中国の伝統芸能 2
武術（カンフー）、気功、太極拳
6. 中国の伝統芸能 3
雑技、変顔
7. 中国の伝統楽器
古琴、二胡、琵琶、笛、古筝
8. 中国の地域と少数民族の芸能 1
東北二人転、?秧歌
9. 中国の地域と少数民族の芸能 2
雲南省の民族舞踊
10. 中国の地域と少数民族の芸能 3
モンゴル族の歌と踊り
11. 中国の近現代芸能
映画、テレビ番組、流行音楽など
12. 日本の伝統芸能(グループに分けて、討論、レポート作成)
伝統祭り、和歌、俳句、神楽、田楽、能楽、狂言、歌舞伎、落語など
13. 朝鮮半島を代表する伝統芸能
「宮中舞踊」と「民間舞踊」
14. 韓流ブームと韓国の芸能のいま
15. アジアの芸能文化の比較

●準備学習・事後学習の内容

コメントペーパーを提出してもらうことがある。

●成績評価方法・基準

レポート、コメント、出席を含む平常点 60%、論文テスト 40%

●テキスト（必携）

授業中に配布

●参考文献／その他

適宜、指示する。

●履修上の注意

出席及び授業への参加を重視する。

私語厳禁。

打刻してからの退室は欠席とみなす。